

# 復興工事の進捗率は

## 織笠、船越・田の浜で9割程度

**問** 町で発注している復興工事の進捗率は現在何%程度か。

**佐藤町長** 工事出来高

ベースで、災害公営住宅を除くまちづくり関連事業の進捗状況としては、大沢地区については、袴田地区は完成、他地区については高台の引き渡し業務が4月から順次開始する予定で、7割程度の進捗である。

山田地区は国、県、町それぞれの事業間の調整、事業用地の確定および交渉等に時間を要しており、5割程度の進捗。織笠地区は、高台造成、区画整理とも仕上げの段階で9割程度の進捗。

船越・田の浜地区は4月からの引き渡し業務に向けて工事実施中であり、進捗は9割程度。

大浦・小谷鳥地区においては宅地造成は完了している。また、災害公営住宅は計画戸数の3割程度が27年度末までには完成する見込みである。

# 支え合い生活するための施策は

## 高齢者地区組織支えあい事業など

**問** 住民が住み慣れた地域で自立した生活を送ることができるよう、また互いに支え合いながら社

会生活が送られるような環境づくりを進めるための具体的な取り組みの内容について説明せよ。

**町長** 高齢化が進む中、

介護予防の観点から、各地区で自主的に活動する団体への助成を行う「高齢者地区組織支えあい事業」やボランティアを養成するための研修会、地

域での見守り体制を検討する地域ケア会議などを行っている。

また、障がいのある方の自立支援のため、相談支援、就労支援および各種サービスの提供を強化し、住み慣れた地域で互いに支え合いながら暮らせる環境づくりを進めている。

# 漁業所得向上の施策は

## 種苗放流事業の全額助成

**問** 漁業生産量の増大と漁業所得の向上のための対策は。

**町長** 震災で資源の減少が懸念されるアワビと近年需要が伸びているナマコの生産量の増大による

漁業所得の向上を図るため、昨年に続き種苗放流事業に対して、予算の範囲内で全額助成する。28年度はアワビが26万1千個、ナマコ9千個の放流を予定している。



阿部 幸一 議員  
( 新 生 会 )



織笠地区の高台住宅団地